

# ファイナル風

(現場)からの

宮田守男

1月初旬、信州大学新棟5階第4講義室で開催された、信州大学経済学部授業「会計監査の理論と実務」に一般学生と一緒に講義に

参加する。国際会計基準(IFRS)の世界では超有名な公認会計士と言われている山田辰巳さんが講義を行うとの案内に興味があり参加した。会計畑に疎い私には、初めて聞く名前だった。90分の講義時間が全く気にならない、有意義な時間となった。会計監査の世界で、世界で活躍している人の話は、未知の世界だった。

青山を経て、みずほ監査法人のパートナーに。2001年から10年間国際会計基準審議会(IASB)の理事に。特に1995年から10年間は日本代表として、国際会計基準委員に。この10年間

主張を持つことが大切で、その主張が首尾一貫している事。「無事これ名馬」と言われているが、健康であることも大切。使命感と信念を持てば、日本人の英語力でも、世界で対等の立場での

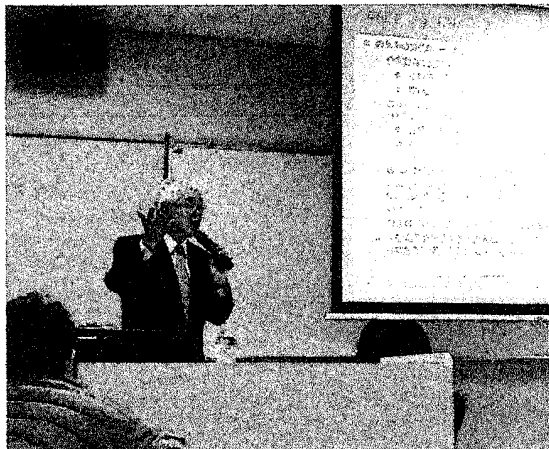
言えるようにこの内容は全ての会議にも共通する課題なのだろう。講師の夢は、日本から国際会計基準委員会議長を出したいとの発言を聞き、卓越した見識を持つ講師なら、議長として活躍してほしいと願ってしまう。国際会計基準は、全世界共通たとの認識が誤りだったと悟った講義内容だった。米国の思惑や日本の会計上の課題も少し理解できた。「のれん代」の償却の課題点にも関心が持てた。本年から大幅に、改正されるリース

## 地域経済に関わる学習会に積極的に参加してみませんか

論戦で力を示すことができる。特に日本人は、会議に出席してもほとんど発言しない。海外では、物事の本質で判断され、発言しなければ、貢献なしと判断されてしまう。会議に出席すれば、必ず発言するようになるとの内容は全ての会議にも共通する課題なのだろう。講師の夢は、日本から国際会計基準委員会議長を出したいとの発言を聞き、卓越した見識を持つ講師なら、議長として活躍してほしいと願ってしまう。国際会計基準は、全世界共通たとの認識が誤りだったと悟った講義内容だった。米国の思惑や日本の会計上の課題も少し理解できた。「のれん代」の償却の課題点にも関心が持てた。本年から大幅に、改正されるリース

会計。リース契約をするれば、単年度決算で費用換算できた会計処理がリース内容により、借り手が、資産(利用権)及び負債を認識する会計処理法になる。地域経済に、影響が出

るか心配になる。世界第一線で活躍する日本人に出会えた有意義な一日だった。  
(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・森上百馬村)



魅力ある講師には、伝える力があるのだと実感できる講義内容だった